

改修補助金申請時チェックリスト

※耐震改修の設計は「2012年改訂版」木造住宅の耐震診断と補強方法によるものとする。

※訂正がある場合は指摘事項をまとめてお伝えしますので、設計担当者の連絡先、メールアドレス等を表紙等に明示してください。

添付書類・確認内容	チェック
<p>【申請書表紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>受付前に事前審査を行うため、右上の日付は空欄（補正完了日）</u>とすること。 ・ 申請者は耐震診断をした者と同一であるか。 ・ 地名地番、建築年度、面積は耐震診断結果報告書の内容が記載されているか。 ・ 耐震診断時の判定値、診断員の資格等は診断結果報告書の内容が記載されているか。 ・ 補助対象経費は市で計算するため、空欄で可。 ・ 工期が記入されているか。（概ねの日程で可） 	□
<p>【耐震診断結果報告書の写し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全てのページがコピーされたものが添付されているか。 ・ 設計者による再診断を実施している場合は、その資料が添付されているか。また、再診断の資料に設計士の資格及び記名がなされているか。 	□
<p>【案内図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゼンリン、グーグル等の住宅地図が添付されているか。 	□
<p>【平面図（共通）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 方位、縮尺、通り芯が記載されているか。 ・ 耐力壁位置に壁基準耐力が記載されているか。 ・ 壁耐力基準、金物の凡例が記載されているか。 ・ 各柱の小径、管柱、通柱が記載されているか。 ・ 筋交いの向き、寸法が記載されているか。 ・ 設計士の資格及び記名がなされているか。 	□
<p>【平面図（現況）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 増築されている場合は、増築範囲、増築年が記載されているか。 	□

<p>【平面図（改修後）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各階床面積及び延べ面積が記載されているか。 ・補強個所が明示されているか。 ・愛知県地震防災軽減システム研究協議会の認定工法を使用する場合は、評価番号を壁ごとに記入されているか。 ・接合部仕様Ⅱを使用する場合は、ⅠとⅡの符号が記載されているか。 ・使用予定の接合金物（柱頭・柱脚・筋交い等）の凡例が記載されているか。またそれらの耐力、告示対応が確認できるカタログが添付されているか。 ・<u>附帯工事の範囲が図示、明記されているか。</u> ・<u>補助対象外工事がある場合は、その内容が記載されているか。</u> ・基礎補強を行う場合、基礎詳細図が添付されているか。 	□
<p>【立面図】※外壁改修、雨樋改修がある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部の工事内容、<u>施工範囲（数量根拠）</u>が記載されているか。 ・補助対象外工事がある場合は、その内容が記載されているか。 	□
<p>【屋根伏図】※屋根改修がある場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葺き替えの工事内容、<u>施工範囲（数量根拠）</u>が記載されているか。 ・屋根材のカタログが添付されているか。 	□
<p>【耐震診断計算書（補強後）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>表紙等に設計者の記名、資格等が記載されているか。</u> ・Wee のバージョンは最新か。 ・壁配置図のモジュールは、図面を確認し、一番近い割付となっているか。また、寸法は実面積に近い数値か。 ・壁配置図が細かく重なってしまう場合は、確認用として拡大を提出すること。 ・各領域の面積は、図面から求積した実面積に近い数値となっているか。 ・部材リスト（壁配置図記載）は、図面と整合が取れているか。 ・劣化度による<u>低減係数について、改修により改善されている場合は、根拠が図面等に記入されているか。</u> 	□
<p>【N値計算書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成12年建設省告示第1460号「木造の接手及び仕口の構造方法を定める件」第二号のただし書きにより、接合金物を求める方法に準拠した計算を行ったものであるか。 	□

<p>【見積書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>耐震改修工事、改修設計及び附帯工事とその他の部分に分かれていますか。</u> ・ 数量は図面と整合がとれているか。 ・ 内訳は箇所数、面積を明示すること。（一式計上としない。） ・ 施工業者代表業者の記名をすること。 	<input type="checkbox"/>
<p>【その他添付する資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>大臣認定の壁倍率を使用する場合は認定書の写し。</u> ・ 認定工法を使用する場合は評価シートの写し。 ・ 設計者、施工者指定のある工法の場合は証明書の写し。 ・ <u>使用予定接合金物のカタログの写し、必要に応じて認定書、試験成績書の写し。</u> 	<input type="checkbox"/>

※書類に不備がある場合は、再度提出をお願いする場合があります。

※提出時は、連絡先等を申請書の欄外に記入してください。